

第1学年 国語科学習指導案

授業者 小松由香

1 目指す言語能力 場面の様子を想像を広げながら読む力

2 教材名 「おむすびころりん」 羽曾部忠（光村図書1年上「かざぐるま」）

3 児童の実態

男子13名，女子11名，計24名のクラスである。入学してから3ヶ月，様々な事に興味を持ち，積極的に取り組んでいくパワーあふれる子どもたちである。本を読むことや読み聞かせを聞くことも大好きで，国語の学習にも大変意欲的に取り組んでいる。しかし，まだまだ集中できる時間が短く興味が持続できないのが現状である。

物語を読むことに関しては，1年生最初の物語の単元である「はなのみち」で，場面の様子を想像しながら，声に出して読む学習を行った。場面の様子を読み取る学習から始め，音読の表現方法の技能的な面（声の大きさ，読む速さ，はっきりとした発音など）を学習しながら，役割を決めたり，動作化などを取り入れたりして，楽しく学習を進めることができた。学習の最後には音読発表会を行い，練習の成果を発表し合った。つかえずに読むことや口をしっかりと動かしてははっきり読むことは少しずつ上手になってきているが，個人差が大きい。

話し合い活動に関しては，話し合いの基礎となる「自分の考えや思いを相手にしっかり伝えること」「相手の話していることをしっかり聞くこと」を大切にして指導を行っている。まだまだ「教師対自分」の意識が強い時期であるが，入学当初より隣同士の1対1の対話の機会を多く取り入れ，意見の交流を意識させてきた。始めは自分の考えを伝えることで精一杯の様子だったが，対話を重ねる中で少しずつ相手の考えを受け止められるようになり，いいところをほめ合ったり，アドバイスをし合ったりする姿が見られるようになってきた。本単元の中でも相手の考えや音読をよく聞き，良いところを見つけたり，アドバイスをしたりしながらお互いの音読を少しでも良いものにしていけたらと考えている。

国語科に関する日常的な取り組みとしては，入学当初より毎日宿題で教科書教材の音読練習に取り組んでいる。児童は声の大きさなどを家の人にチェックしてもらい，励ましの声をたくさん掛けてもらいながら楽しく音読練習に取り組んでいる。また，国語の授業の最初には，みんなで詩を音読する時間を設け，声を出す取り組みも行っている。授業の最初に声を出すことによって，集中が図られたり，授業の中での積極的な発言につながったり，詩の表現技法を学んだりすることができる。中にはすぐに暗唱する児童も見られ，楽しんで取り組んでいる様子が見られる。その他にも，朝の会の中にスピーチの時間を設けみんなの前で話をする機会を増やしたり，書く活動の日常化を図るため「あのね日記」を継続して行ったりしている。

4 指導の内容と教材のかかわり(手だて)

(1) 本指導計画において意識させたい「5つの言語意識」

相手意識 ・クラスの友達に対して

目的意識 ・場面の様子を想像を広げながら読むために

場の意識 ・1対1の対話やクラスの中での発表を通して

方法意識 ・粗筋を捉えた上で，根拠や理由を挙げながら場面の様子を想像する
・想像したことを基に，自分がどう音読したいかを考える

・音読発表会を開く

評価意識 ・物語から読み取ったことをもとにして、想像しながら楽しく読めたか

(2) 教材観・指導観及び学びの意欲を高めるための手だて

本教材「おむすびころりん」は、1学期最後の文学教材であり、今までで一番の長文である。心優しいおじいさんが、おむすびを穴に転がすことで、ネズミたちの歓迎を受け、思わぬ幸運をつかむという話である。昔話特有の不思議で楽しい展開は、読んだ後心の中にほのぼのとした温かさを感じる内容となっている。また、物語の中には、児童にとって理解しにくい言葉はほとんどなく、挿絵も多く、詩的でリズムカルな文章になっているので、楽しく読み進めていくうちに物語の情景も展開も自然に浮かんでくるであろう。登場人物に同化しやすいこの時期の児童は、おじいさん、おばあさん、ねずみになりきって音読することによって、興味・関心も持続し、内容を理解することもできる。声に出して読んだり、歌ったり、聞いたり、体を動かして楽しむ活動を大切にすることで、昔話に込められた人々の心と、日本語の言葉の響きに触れさせたい教材である。

指導にあたっては、児童が昔話の楽しさを十分実感できるよう、リズムにのった様々な形での音読や動作化を取り入れて楽しい活動を展開していきたい。その際、登場人物のペープサートやお面、背景が感じられるような教室掲示を工夫し、学習の場の雰囲気作りもしていきたい。また、場面の様子を想像しながら読むためには、話の内容をしっかりと理解している必要がある。そのため、挿絵を活用したり、吹き出しに登場人物の気持ちを書き込む活動を取り入れたりしながら、丁寧な読み取りも進めていきたい。そして、最後に音読発表会という目標を設定することで、聞き手にお話しの楽しさや様子が伝わるような音読の工夫をしていきたいという気持ちを持たせ、意欲的に活動できることも期待していきたい。

更に、今回の学習がきっかけとなり、ほかの昔話や絵本へと読書の興味が広がっていくよう、教室には、学校の図書館だけでなく地域の図書館とも連携を取って、たくさんの本を用意しておきたい。

(3) 本校の研究に関わって

国語科仮説

論理的思考力を高めるような言語活動を工夫するとともに、学び合いの場を取り入れることによって、確かな学力が身につくだろう。

言語活動の工夫としては、音読発表会に向けて音読練習をする中で、自分なりの音読の工夫を内容から読み取ったことを根拠として挙げながら考えさせたい。例えば「おなかがすいているから小さく弱く読みたい。」などと考えることで論理的思考力を高めていきたい。また、伝え合う場面として、自分の考えをまとめる 1対1の対話の中で自分の考えを伝える 全体で発表するといった活動を随所に仕組んでいきたい。そのような伝え合う活動を通して、自分では考えのつかなかった発想に触れたり、新しい気づきを得たりすることができると思う。そして、その繰り返しによって、伝え合い方(話し方・聞き方・話し合い方)の基本を学ばせたい。

5 指導の目標

場面の様子を想像しながら読んで昔話を楽しみ、また、声に出して読んで言葉の響きやリズムを楽しむ。

6 改善プラン・指導計画と評価計画

(1) 改善プラン

視点1 正答数分布による分析

プラン1 基礎的・基本的な知識技能を確実に取得できるような授業改善を図る。

- ・伝え合う場を多く設定するような授業を行っていく。併せて伝え合い方(話し方・聞き方・話し合い方)の基本を提示し、確立していく。
- ・読書活動を充実させる。

視点4 具体的な問題の正誤状況による分析

プラン1 「読むこと」において、論理的な思考力を育てるための指導法を工夫する。

- ・物語を読むときは、登場人物の特徴や人物相互の関係などをとらえ、場面の展開に関わる言動を押さえながら、物語全体を把握するような指導をする。そして、それらをもとに、音読の工夫などの活動を仕組んでいく。

(2) 指導計画と評価計画

指導事項	<p>ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。</p> <p>ウ 場面の様子について 登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。</p> <p>A - ウ 姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で話すこと。</p>
この授業で身に付けさせたい基礎的な知識・技能	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと ・ひとまとまりの語や文として読むこと ・言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>想像を広げながら読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話がどう進んでいくか考えること ・挿絵や本文から登場人物の心情やまわりの様子を考えること ・場面の様子の変化や登場人物の行動の変化をとらえ，豊かに想像すること ・自分の体験や既知を重ね合わせ，考えること ・読み取ったことを生かして，工夫して音読すること <p>交流についての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの思いを分かち合い，感じ方や考え方を認めること <p>伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり，文字に関する知識</p>
言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・本や文章を楽しんだり，想像を広げたりしながら読むこと ・物語の読み聞かせを聞いたり，物語を演じたりすること

読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

全8時間(読むこと)(読むこと79時間中の7時間)

次時	指導目標及び言語活動	基礎的な知識・技能	Aの姿	Cの手だて	評価方法	主な改善プラン
一 1	「おむすびころりん」を読んであらすじをつかみ、音読発表会を開く見通しを持たせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと ひとまとまりの語や文として読むこと 言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり，文字に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味や文字を読むこと 	登場人物や場面の移り変わりを確実に理解し，音読発表会を開くことをとても楽しみにしている。	挿絵を参考にしながら粗筋をとらえさせ，「おむすびころりん」の音読発表会を開くことを伝える。	観察・発言・ワークシート	視点4 プラン1
二 2	一の場面を音読し，おむすびを転がしてしまうおじいさんの様子や気持ちを読み取らせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと ひとまとまりの語や文として読むこと 言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>想像を広げながら読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> おむすびを転がしてしまったおじいさんの様子や気持ちを読み取ること 	本文の言葉や挿絵からおじいさんの様子や気持ちをしっかりと読み取り，自分の言葉で発表したり，ワークシートに書いてりしている。	おじいさんの様子や気持ちや言葉に線を引きせたり，自分がおじいさんだったらどうか考えさせながら読ませる。	観察・発言・ワークシート	視点4 プラン1
3 前半部	前時に読み取った事に基づいて，一の場面(前半部、後半部)の音読の工夫を考えさせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢や口形，声の大きさや速さなどにちゅういして，はっきりとした発音で読むこと ひとまとまりの語や文として読むこと 言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>想像を広げながら読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に読み取ったおじいさんの様子や気持ちを生かして，工夫して音読すること <p>交流についての知識・技能</p>	内容から読み取ったことを根拠としてあげながら，おじいさんの様子や気持ちが表れるように様々な音読の工夫をしている。	おじいさんの様子や気持ちや言葉に線を引きせたり，挿絵を利用したり，前時の読み取りの内容を提示したりしながら，音読の工夫につなげていく。	観察・発言・ワークシート	視点1 プラン1 視点4 プラン1
4 後半部 本時						

		<ul style="list-style-type: none"> ・友達の音読の工夫を聞いて、良いところを探したり、アドバイスをしたりすること 				
5	<p>二の場面を音読し、おじいさんをもてなすねずみの様子や気持ちを想像させ、音読の工夫を考えさせる。</p>	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと ・ひとまとまりの語や文として読むこと ・言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>想像を広げながら読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむすびをもらったねずみの様子や気持ちを読み取り，それを生かして工夫して音読すること <p>交流についての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の音読の工夫を聞いて，良いところを探したり，アドバイスをしたりすること 	<p>本文の言葉や挿絵からねずみの様子や気持ちをしっかり読み取り，それらを根拠としてあげながら，様々な音読の工夫をしている。</p>	<p>ねずみの様子や気持ちが表れている部分に線を引かせたり，自分がねずみだったらどうかを考えさせたりしながら，音読の工夫につなげていく。</p>	<p>観察・発言・ワークシート</p>	<p>視点1 プラン1</p> <p>視点4 プラン1</p>
6	<p>三の場面を音読し，おじいさんとおばあさんの喜ぶ様子を想像させ，音読の工夫を考えさせる。</p>	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと ・ひとまとまりの語や文として読むこと ・言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと <p>想像を広げながら読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こづちをもらったおじいさんとおばあさんの様子や気持ちを読み取り，それを生かして工夫して音読すること <p>交流についての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の音読の工夫を聞いて，良いところを探したり，アドバイスをしたりすること 	<p>本文の言葉や挿絵からこづちをもらったおじいさんとおばあさんの様子や気持ちをしっかり読み取り，それらを根拠としてあげながら，様々な音読の工夫をしている。</p>	<p>おじいさんやおばあさんの様子や気持ちが表れているところに線を引かせたり，自分だったらどうかを考えさせながら，音読の工夫につなげていく。</p>	<p>観察・発言・ワークシート</p>	<p>視点1 プラン1</p> <p>視点4 プラン1</p>
7	<p>グループごとに音読の分担を決めて，練習をさせる。</p>	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形，声の大きさや速さなどに注意して，はっきりとした発音で読むこと 	<p>自分が考えた音読の工夫をしっかりと取り入れながら，意欲的に練習している。</p> <p>グループの友達の良</p>	<p>ワークシート</p> <p>に書いてある音読の工夫をもう一度振り返らせてから</p>	<p>観察・発言・ワークシート</p>	<p>視点1 プラン1</p> <p>視点4</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとまとまりの語や文として読むこと ・言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと 想像を広げながら読むことについての知識・技能 ・読み取ったことを生かして、工夫して音読すること 交流についての知識・技能 ・だれが、どこを読むか話し合い、決定すること ・友達の音読を聞いて、良い点を探したり、アドバイスをしたりすること 	<p>いところやアドバイスを的確に伝えている。</p>	<p>音読の練習をさせる。</p> <p>友達の音読を聞いて思ったことを自由に話させる。</p>		<p>プラン 1</p>
8	音読発表会を開き、感想を発表させる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や・口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりとした発音で読むこと ・ひとまとまりの語や文として読むこと ・言葉の響きやリズムなどに注意して読むこと 想像を広げながらよむことについての知識・技能 ・読み取ったことを生かして、工夫して音読すること 交流についての知識・技能 ・友達の音読を聞いて、良い点を探し、発表すること 	<p>自分が考えた音読の工夫をしっかり取り入れ、場面の様子が良く表れるように音読している。</p> <p>クラスの友達の音読の良いところやアドバイスを的確に伝えている。</p>	<p>自信を持って発表できるよう、練習をさせてから発表させる。</p> <p>クラスの友達の音読を聞いて思ったことを自由に話させる。</p>	<p>観察・発言・ワークシート</p>	<p>視点1 プラン1</p> <p>視点4 プラン1</p>

7 本時の展開

- (1) 日 時 平成21年6月26日(金) 5校時(13:30~14:15)
- (2) 場 所 1年2組教室
- (3) 目 標 おじいさんの様子を想像しながら、音読の工夫をすることができる。
- (4) 指導の工夫

改善プラン

視点1 正答数分布による分析

プラン1 基礎的・基本的な知識技能を確実に習得できるような授業改善を図る。

- ・伝え合う場を多く設定するような授業を行っていく。併せて伝え合い(話し方・聞き方・話し合い方)の基本を提示し、確立させていく。

視点4 具体的な問題の正誤状況による分析

プラン1 「読むこと」において、論理的な思考力を育てるための指導法を工夫する。

- ・物語を読むときは，登場人物の特徴や人物相互の関係などにとらえ，場面の展開に関わる言動を押さえながら，物語全体を把握するような指導をする。そして，それらをもとに，音読の工夫などの活動を仕組んでいく。

(5) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法，改善プラン
つかむ 5分	1 本時の学習内容を確認する。	物語の世界に浸れるよう，雰囲気作りを行ってから学習に入る。 一の場面をおじいさんの様子を考えながら工夫して音読することを伝える。	
	1のばめんこうはんをおじいさんになってくふうしてよんでみよう		
考える 15分	2 一人ひとりが音読の工夫を考える。	音読の基本的表現を組み合わせながら音読を工夫させる。その際，必ず理由や根拠となることを一緒に書かせる。 前時に学習した場面の様子などが分かるよう，黒板に掲示しておく。 おじいさんのつぶやきが吹き出しに書いてあるので，考える際に確認させる。 歌の部分は，おじいさんにどう聞こえるか考えさせる。	視点4 プラン1 ・根拠をしっかりと挙げながら，音読の工夫を考えている。 (ワークシート)
学びあう 20分	3 隣同士で自分の考えを伝え合う。 4 音読の練習をする。 5 発表する。	ワークシートをもとに，それぞれが自分の考えた工夫を相手に伝えるようにさせる。その際，聞く側は，その工夫の良いところやアドバイスできそうなことを探し，伝えるようにさせる。 自分の席の周りを使い自由に練習させる。動作を入れたり，おじいさんのつぶやきを入れたりしても良いことを伝える。 音読の工夫の根拠となったことを聞いてから発表させる。 聞く側には，発表の良かったとこ	視点1 プラン1 視点4 プラン1 ・自分の考えた工夫を音読に生かしている。 (観察)

		ろや更に良くするにはどうしたらいいかを考えさせ、発表させる。	
まとめ 5分	6 本時のまとめをする。	頑張ったこと、良かったこと、もっと頑張りたいことなどを発表させる。 次時は二の場面を学習することを伝える。	

(6) 評価

評価規準 (B)	A の姿	C への手だて
内容から読み取ったことを根拠としてあげながら、音読の工夫を考えている。	内容から読み取ったことを根拠としてあげながら、おじいさんの様子や気持ちが表れるように様々な音読の工夫を考えている。	挿絵のおじいさんの様子から、おじいさんになってどんなふうを読んだら様子が伝わるか考えさせる。